

News

Dr. Maarten van de Guchte 来日&特別講義

9月19日(金)、HBS 海外メンバーとしてフランスから来日された Dr. Maarten van de Guchte による講義が行われ、研究室のメンバーも聴講させていただいた。乳酸菌の生体調節機能についての講義であったが、慣れない英語での講義にメンバー達は戸惑いつつも、同じ分野の研究テーマが話題に上っていたこともあり、興味津々に話を聴いていた。また、22日(月)には Dr. Guchte を迎えての研究発表が行われ、宋苑吟(D3)、谷野有佳(D3)、Jarukan Lamubol(M2)がこれまでの研究成果を発表した。その後、Dr. Guchte 自身の研究内容についても講義していただいた。



専門分野について説明してくださる Dr. Guchte。先週の19日(金)とはまた異なる話を聞くことができ、有意義な2日間となった。ただ、やはり黒板よりも大きな彼の身長には驚きを隠せない一同であった。



流暢な英語で発表を行う Jarukan(M1)。Dr. Guchte からの英語での質問にも難なく受け答えしていた。

宋さん送別会

9月22日(月)、韓国に帰国する宋(D3)の送別会が行われた。サプライズで用意していたアルバムやメッセージカードをプレゼントすると一時寂しいムードに包まれたが、その後は用意された食事を囲み、会話を楽しみながら宋さんとの別れを惜しんだ。



谷野(右奥、D3)、山下紗枝(中央奥、M1)、からプレゼントを受け取る宋(左奥、D3)と、それを見守る一同。手前から西本光希(B4)、小寺裕貴(M2)、Jarukan(M2)、桑田崇志(M2)。



宋さんを囲みでの会話を楽しむ一同。お寿司はあっという間に無くなってしまった様子。左から嘉正雄太(M1)、宋(D3)、水野雅史教授、小寺(M2)、桑田(M2)。



宋(左、D3)からよく韓国語を教えてもらっていた谷野(中央、D3)、横山友紀(右、M2)。

宋さん、今までお疲れさまでした。
韓国でも頑張ってください!!

日本応用糖質科学会 平成26年度大会

9月24(水)-26日(金)に新潟県の朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターにて日本応用糖質科学会平成26年度大会が開催され、大浦圭吾(M2)が発表を行った。



「これからも“ポジティブな結果”にこだわっていききたい」と前向きな姿勢を示す大浦(M2)。

論文・学会発表

学会発表)

日本応用糖質科学会平成26年度大会
朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター
2014年9月24日(水)-26日(金)

○大浦圭吾、橋本堂史、水野雅史「食品由来多糖類によるナイーブT細胞分化の制御」講演要旨集 p.43

編集後記

今回も滝沢さんに助けてもらいながらなんとか記事を完成させることができました。これからも頑張っ更新していききたいです。

中村紫乃(B4)